



北限のゆずのゆずっこ便利

2023年3月発行
第10号
北限のゆず
北限のゆず研究会



北限のゆず研究会設立総会



2013年設立総会時の写真

2023年
6月25日で
北限のゆず研究会が
発足してから
10年!

陸前高田の庭先に2000年以前から植えられていたゆず。地元の方にとっては当たり前だったゆずが、この10年で『北限のゆず』として多方面から注目していただけになりました。

価値に気づけたのは、2010年に株式会社南部美人(岩手県二戸市)が糖類無添加ゆず酒の開発のために果実を集荷したことがきっかけです。その後たくさんの方に関わっていただいて、任意団体として10年続けてこられました。この場をお借りして感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

記念すべき第10号のゆずっこ便利は、「北限のゆずでみんなの笑顔と希望を」と奮闘してきた「これまで」が詰まった内容となっております。これからについてはFacebookに投稿した佐々木会長の言葉を読んでください。下記QRからご覧ください。▼



次の10年も皆さまと共に楽しんでいけたら嬉しいです!

北限のゆず研究会年表

2012年度	団体設立準備会
2013年 3月	北限のゆずを楽しむ会を初開催
2013年 6月	北限のゆず研究会設立総会
2013年 11月	『北限のゆず』を商標登録、ゆず狩りサポーター初開催
2014年 3月	ゆず苗の定植を開始、ホームページ開設
2015年 11月	北限のゆず研究会として原料の加工を開始(あすなるホーム)
2016年 11月	ゆずっこ便利の発行をスタート
2018年 11月	定植したゆずの樹から初収穫
2020年 3月	優良系統を3つ選抜し、陸前高田市内のモデル園地に植樹



会員のメッセージ



船本恵子 佐々木隆志 西條一恵

も私たちもゆずの魅力にひかれ、ゆずまるシフォンとクッキーをゆずの風味豊かに作り上げ、その後もゆず商品を開発しています。

震災後、南部美人様より搾汁作業を依頼され、毎年晩秋には、ゆずの香りに包まれての作業が始まりました。その後、研究会が発足してからも、利用者の作業として地域の宝に関わることはありがたいと思っています。

『北限のゆず』を植樹している生産者も増え、安定供給でき、更に様々な企業に拡がっていくことを望んでいます。

北限のゆず研究会 監事
採れたてランド高田松原 船本恵子

前任者である故熊谷和人の思いを「何とか形に残したい」と引継ぎ奮闘した年月。当初、こんなに色々な可能性を秘めたものとは思いません。ゆずの時期は、出荷するのに悪戦苦闘の日々でした。選果が大変と嘆いた時期もあったけれど、ゆずの魅力にはまってしまいました。

庭先にあったゆずは、この10年で価値のある『北限のゆず』となり、多くの皆さんに、応援され、使われ、喜ばれるものとなりました。栽培・収穫・選果・加工・販売と試行錯誤した10年は、困難もあったけれど、それ以上に沢山の実り(絆)と笑顔がありました。

北限のゆず研究会 副会長
あすなるホーム 西條一恵

あすなるホームでは、2009年に地元食材を使用した菓子の開発に取り組みました。料理研究家



10年間の実績

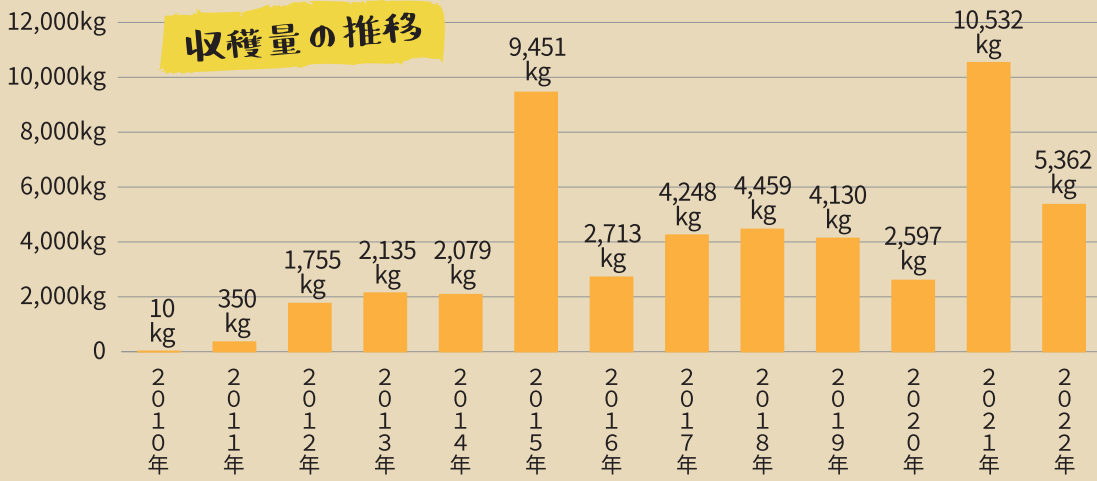
■ゆず狩りサポーターは、約50回の開催で延べ1000人以上が参加
 全体の7割以上が東北6県から参加しており、関東・関西からの参加もありました。

■北限のゆずを楽しむ会は、計9回の開催で延べ600人以上が参加
 最大で80人が参加した会もありました。

■隔年性はありませんが、順調に収量が増加(下記グラフ「収量の推移」参照)
 2014年当初は「2033年に20t」を目標にしていました。

■北限のゆずを使用した商品は、限定生産を含むと50種類以上
 約7割の商品が、陸前高田市とお隣り大船渡市で作られています。

■約1300本のゆずを新たに定植
 定植したゆずの樹から初収穫できたのは2018年。収穫まで通常4〜5年かかります。



ゆず狩りサポーターの様子

北限のゆずの特徴

■優良系統が存在する

寒冷地における耐寒性に加え、結実しやすさ(1本の収穫量が多い)や加工適性の高さ(果実の重量や搾汁率など)があげられます。優良系統を3つ選抜し、2020年に陸前高田市内のモデル園地へ植栽して経過を観察中。最終的には1つに絞り込む予定です。

■既存樹はウイルスに強く、綺麗な状態が保たれやすい

既存樹の中には、柑橘に感染するウイルスに強い耐性をもつ個体が確認されています。果皮にかさぶたのようなブツブツが発生する病気の影響を受けにくく、生果の表面が綺麗に保たれます。

■果汁

他の産地と比較して、抗酸化作用がある成分を多く含んでいます。特に、ポ



樹齢70年以上のゆずの樹



あすなるホームによる加工作業

■香り

リフェノールの一種であるフラバノン配糖体(フラボノイドの一種)は他の産地の2倍。ポリフェノールには、抗酸化作用、デトックス作用、アンチエイジング、ストレス緩和、がん抑制、免疫を整える、血液がサラサラになるなど様々な効果があります。



他の産地と異なる、さわやかな香りが特徴です。

※比較対象産地は、高知県・埼玉県・宮崎県

お問合せ先

北限のゆず研究会事務局

〒029-2206 岩手県陸前高田市 米崎町字佐野 200-8

☎ 090-7339-6447 (会長 佐々木)
 対応時間：10時～16時

✉ hokugen.yuzu@gmail.com

HP <http://www.hokugen-yuzu.jp>

FB <https://www.facebook.com/HokugenYuzu>



種子オイル



種子オイル(搾油)

北限のゆず研究会の 商品を開発中

今まで研究会では加工用原料のみを販売していましたが、「10年を機に北限のゆずを使用した商品を作れないか」と開発中です。使用する材料は、今まで廃棄していた「種」と「剪定枝」を試しています。どんな商品ができるのか、楽しみにお待ちください!